



# 雪学習 指導案 [社会科]

雪学習とは、「雪」を楽しんだり（親雪）、「雪」を克服したりする活動を通じて、冬の暮らしに関心を持ち、除雪に対する意識が浸透することを目指した学習です。

■実施校 札幌市立稲穂小学校 ■実施学級 4年2組 ■実施日 2021年10月

■指導者 居鶴 裕人 ■科目/单元名 社会科「大雪から暮らしを守る」[5時間扱い]

## 活用した資料

札幌市社会科副読本  
わたしたちの札幌  
4年下



P23-30

「雪害って何のこと？」(動画：2分23秒)

<https://youtu.be/vde48lIX0T4>



「じよ雪とはい雪は何がちがうの？」  
(動画：2分)

<https://youtu.be/0BYKXB8v2eQ>



図：除雪する車道の距離



写真：稲穂小の通学路の様子

## 授業の様子



授業 (1/5)



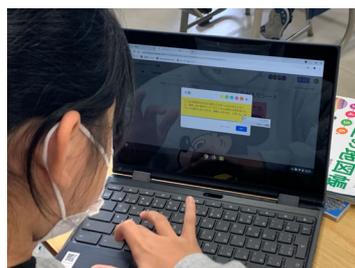
授業 (1/5)



授業 (1/5)



授業 (2/5)



授業 (2/5)

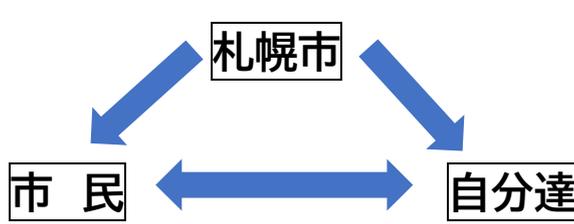


授業 (2/5)

# 本単元で育む資質や能力

- (1) 過去に発生した地域の雪害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり、地図や年表などの資料で調べたりして、まとめ、雪害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することを通じて、地域の関係機関や人々は、雪害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される雪害に対し、様々な対策や活動をしていることを理解できるようにする。
- (2) 雪害から人々を守る活動について、主体的に学習問題を追及・解決し、社会の一員として、これからの冬のまちづくりについて考えようとする態度を養う。

## ●単元計画（全5時間）

時間	子どもの学習活動
単元の学習問題作り① 札幌市の取組② 市民の取組③ 札幌市の除排雪の課題④ 冬の安全な生活を考える⑤	<p>①  <span style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">?</span> </p> <p style="text-align: center;">大雪でもなぜ、普通に生活ができるの？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>札幌市が除雪してくれるよ。</li> <li>お父さんが雪かきしてくれるよ。</li> </ul> <p style="text-align: center;">でも </p> <p style="text-align: right;">いつ？だれが？どのように？</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">単元の学習問題：雪害から生活を守るために市や市民はどのような取組をしているの？</p>
	<p>②札幌市はどのような取組をしているかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○雪害から暮らしを守るために、札幌市は除排雪を行っていることを捉える。</li> <li>○除排雪のためには関係機関が連携していることを捉え雪対策室のご担当者へインタビューをすることで関心を深める。</li> </ul> 
	<p>③市民はどのような取組をしているかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○雪害から暮らしを守るために、市民は自分の家の除雪や、雪かきボランティアを行っていることを調べる。</li> <li>○市民の迷惑駐車により、除排雪の妨げとなっていることを捉える。</li> </ul>
	<p>④札幌市の除排雪の課題を考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">課題：これからも札幌市が除排雪を続けていくためには？</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">市民と札幌市が協力し合ったり、自分ができるときをしたりすることが大切だ</p> <div style="border: 2px solid yellow; padding: 10px; display: inline-block; transform: rotate(-15deg);"> <p>札幌市の除排雪システムが2027年に崩壊する！？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>⑤冬の安全な生活を絵図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○雪害から暮らしを守るための取組を振り返ることを通じて、市や市民は雪害に対し、様々な協力をして対処してきたことを理解する。</li> </ul> </div>

[子ども一人一人の学びが深まった姿]

雪害から暮らしを守るためには、札幌市と市民の協力が必要であることを理解し、自分達も冬の生活を守っていくために行動していこうとする姿。

## 【領域及び「生活とのつながり」】

### 【他学年・中学校社会との接続・連携】

〔5年〕（5）我が国の国土の自然環境と国民生活の関連

〔公民的分野〕B「私たちと経済」（2）国民の生活と政府の役割

### 【生活とのつながり】

冬の安全な生活を守るために働く人の工夫や営みについて理解することができる。

#### 教師の関わり

- ①大雪により起こる災害、雪害についての捉えを明確にし、雪害は身近に起こる災害であることを動画資料を使って確認する。また、札幌は世界の大都市の中で一番雪が降る街であることを提示し、子ども達にとって当たり前な冬の安全な生活を成り立たせるために、どのような取組があるか、知らない部分に興味を持たせるようにする。
- ②冬の市民の安全な生活を守るために、札幌市がどのような活動をしているか調べていく。動画資料や雪対策室の後藤さんへのインタビュー活動を通して学んでいく。札幌市は費用や除雪面積において世界で一番であり、世界一の除排雪システムをもつ事実を捉えていく。また、それにも関わらず札幌市に来る苦情が一番多いのが除排雪についてである事実を提示し、除排雪にはより市民の理解が必要なることを考えさせていく。
- ③冬の安全な生活を守るために、市民がどのようなことをしていくかを調べていく。自宅の除雪は市民が行うという生活経験を生かしながら、それだけではなく、地域の生活を守るための雪かきボランティアが存在している事実を取り上げ、人々が支え合いながら生活していることを想起できるように展開していく。また、市民の迷惑駐車が札幌市の除排雪の妨げになっていることを提示し、札幌市と市民とが協力する必要があることを考えさせていく。
- ④札幌市の除排雪が除雪従事者の高齢化や担い手不足により危機を迎える事実から、これからの札幌市の除排雪について考えていく。前時までに学習してきた「札幌市」「市民」という立場に合わせて、「自分達」が何をできるかという三つの立場で札幌市の抱える問題について考えていく。交流で子ども達の意見が深まるよう、ジャムボードを活用していく。
- ⑤これまで学習してきたことを生かし、冬の安全生活と何か、絵図にまとめていく。その際、「札幌市」「市民」「自分達」という三つの立場の人物を取り上げるようにし、雪害から冬の安全な暮らしを守るために必要なことはなにかを表現させていく。

【課題探究的な学習を取り入れた授業】を充実させるセルフチェックの視点】

#### セルフチェック3、6

（課題解決に向けての見通し）

（学びのよさを実感し、次の課題へ向かう）

○雪害から札幌市の冬の安全な暮らしを守る営みについて、「札幌市」と「市民」という二つの立場で考えていくことを提示することで、課題の解決を見通しやすくしていく。また、身近な生活と学習をつなげていくことで次時への期待感を持たせる学習展開としていく。

#### セルフチェック5

（多面的・多角的に考察する）

○札幌市の抱える課題について、「札幌市」「市民」「自分達」という三つの立場で考察していくことで、社会の問題を多角的に解決させていく。

# 課題探究的な本時の学習（4/5時間）

## 本時で育む資質や能力（本時の目標）

除雪作業従事者の高齢化や担い手不足により札幌市の除排雪システムが維持できなくなるといふ問題について、札幌市と市民と自分という三者の立場から考える活動を通して、雪害から暮らしを守るためにはそれぞれの協力が必要であることに気づき、適切に表現している。（思考・判断・表現）

## 子どもの学習活動

【本時まで】札幌市と市民の除排雪のための取組を理解している。

札幌市の除排雪システムが2027年に崩壊する！？

除排雪ができなくなると・・・

- ・学校に行けなくなる
- ・家から出られなくなる。



雪対策室のご担当者

従事者の高齢化と労働の担い手不足により、いまのままでは2027年に除排雪システムの維持が困難になる

みんなの生活のピンチ！

札幌市がもっと除排雪をすればいいのかな

- ・今でもたくさんやっているよ
- ・全部札幌市がやるには限界があるよ

札幌市

- ・限られた予算と人員
- ・作業時間も限られる

課題：これからも札幌市が除排雪も続けていくためには？

予算も人員も、もう増える見込みはない！

- ・クレームを言わない
- ・自分たちも除雪する
- ・迷惑駐車しない

市民

自分達

- ・ボランティア活動に参加する
- ・近所も雪かきをする
- ・おうちの人に伝える

札幌市の除排雪を守るためには、市民と札幌市が協力し合ったり、自分たちができることをすることが大切だね。

### 雪かきボランティア募集！



実は小学生も雪かきボランティアに参加できる！



稲雲高校の高校生も活躍！

### 雪かきチョボラをやってみよう！



- ・家の前を雪かきするだけでも力になれるんだな。
- ・おうちの人とボランティアをしたい！
- ・除排雪を守っていくためにも、自分もできることをしたい。

【子ども一人一人の学びが深まった姿】

除排雪に関する問題を自分ごととして捉え、その問題に対して自分なりに解決する方法を考えようとする姿

## 【本時の主張】教材化・学習展開について

札幌市の抱える除排雪の問題から、札幌市や市民、自分のできることについて考えることで、札幌の除排雪を維持するための方法を考え、自分なりの言葉で表現し伝え合う。

### 教師の関わり

#### ○札幌市の除排雪が崩壊の危機にあることを取り上げる

除排雪作業従事者の高齢化や担い手が不足していることを取り上げ、札幌の除排雪が維持できなくなることを提示する。「学校にいけなくなる。」「家から出られなくなる。」と、危機感を持つ子どもたちに、「そうすると何が困るの?」「なぜそうなるの?」と教師が切り返すことで、具体的に実生活につながる問題を想起させ、自分の冬の生活に直結する問題であることを自覚し、問題意識を醸成する。

#### ○前時までの学習を生かした視点づくり

前時までの学習までに学習したことが、本時の課題解決につながる構成とする。札幌市の除排雪の仕組みや、それを行っていくための関係機関の連携、市民の除雪作業や除雪ボランティアの取組などを課題解決の見通しとしていく。

#### ○ジャムボードを利用した小交流

札幌市の除排雪を維持していく方法を、「札幌市」、「市民」、「自分達」という三つの立場で考えていく。Yチャート上に位置付けていくことで、三つの立場から多角的に考察していく。また、ジャムボード上のYチャートに自分の意見を位置付けていくことで、班の人と共有し、学びを深めていく。

#### ○具体的な姿を語らせながら、課題に引き戻す全体交流

「市民」、「自分達」という立場によって課題が解決していったところで、「じゃあ市民が冗長れば、全部解決だね」、「自分たちだけが冗長れば・・・」と、それぞれの立場だけで課題を解決しようとした姿を具体で語らせ、それぞれの協力が必須になることを理解させていく。

○小学生でも参加できるボランティアがあることを紹介することで、自分も社会のために何かできるかもしれないという期待感をうみ、社会に関わろうとする態度を養う。

○本時で分かったことはなにか、また友達の見解の中で参考になったことはなにかなどを意識させて振り返りを行うことで、1時間の学習の成果を実感させる。

【課題探究的な学習を取り入れた授業】  
を充実させるセルフチェックの視点】

#### セルフチェック1

(興味・関心・疑問をもてる)

○子どもが興味・関心・疑問を十分にもてるようにするために、社会的事象が自分の身近な生活とも直結すること自覚する。

#### セルフチェック3

(課題解決に向けての見通し)

○前時までの学習を活かすことで、札幌市の抱える問題を解決するための糸口としていく。

#### セルフチェック4

(協働して課題解決に向かうよう)

○自分の考えを友達と共有することで、自分の意見との相違点を見出し、学びを深めていく。

#### セルフチェック6

(学びのよさを実感し、次の課題へむかう)

○一時間の学習を振り返りに記述させることで、この1時間での学びの成果を実感させる。

# 学習活動計画 [5時間扱い (1/5)]

時	主な学習活動	学習のポイント				
11:45	~号令~ T: 雪ってどんなイメージ? C: 白い 雪だるま かまくら 冷たい などなど	○プラスとマイナスのイメージを書き分ける				
11:48	T: 今日から、そんな雪に関するお勉強をします。 <u>(わた札: 23P4Lまで読む&lt;meet&gt;資料①)</u> 札幌はひと冬で5mも雪が降るんだって! 人口100万人以上の都市で世界一! <u>(わた札: 続きを読む)</u> 64cmの雪だって! どのくらい? このくらい降ると家からでられなかったり、車や電車などが動かなくなってしまうんだね <u>資料②</u>	○大雪の経験を想起させる				
11:52	雪には楽しいイメージもあるけど、あぶない(じゃま?)部分もあるね <u>板書</u> 今日からやっていく単元の名前は 大雪からくらしを守る だよ <u>板書</u>					
11:54	そんな雪についてを分かりやすくまとめた動画を見てみよう! 雪が降りすぎると・・・ <u>資料 ABC</u> A: 「家がこわれることもあるね」 B: 「渋滞にもなりやすいね」 C: 「転びやすいね」 このような雪の災害を 雪害というよ <u>板書</u>	○投影機に資料を映し、問題点を把握させる				
12:00	T: 札幌は毎年5mも雪が降るから、冬になったら生活できないね… <u>資料 D</u> C: そんなことない! ぶつうに生活しているよ! T: え? 5mの雪はどこに行くの? <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">なぜ大雪なのにぶつうに生活できるの?</div>	○端末を閉じさせる ○子どもの言葉から、観点を示す				
自力解決 10分 12:10 全体交流 10分	C: <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">いつ <u>観点1</u> ・夜 ・雪がふったら ・一日中</td> <td style="padding: 5px;">だれ <u>観点2</u> ・地域の人 ・会社の人 ・札幌市</td> <td style="padding: 5px;">市と市民に立場を分ける <u>市の立場を出させる</u></td> <td style="padding: 5px;">どのように <u>観点3</u> ・手で ・除雪機で ・除雪車で</td> </tr> </table>	いつ <u>観点1</u> ・夜 ・雪がふったら ・一日中	だれ <u>観点2</u> ・地域の人 ・会社の人 ・札幌市	市と市民に立場を分ける <u>市の立場を出させる</u>	どのように <u>観点3</u> ・手で ・除雪機で ・除雪車で	
いつ <u>観点1</u> ・夜 ・雪がふったら ・一日中	だれ <u>観点2</u> ・地域の人 ・会社の人 ・札幌市	市と市民に立場を分ける <u>市の立場を出させる</u>	どのように <u>観点3</u> ・手で ・除雪機で ・除雪車で			
	T: 実際にどうやっているのか、分からない部分もあるね とりあえず、いつのまにか、だれかが、雪をどうにかしているってことんだね! この単元では、そういった知っているようで知らない雪のことをお勉強していくよ!					
12:20	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">【単元目標】 雪害からくらしを守るために、市や市民はどのような取組をしているのか調べよう</div>					
12:23	T: 振り返りをジャムボードに書いていこう!					

資料 ABC

資料②

資料 D

1/4(金) No.44  
大雪からくらしを守る

雪のイメージ  
白い 冬  
ゆきまつり 楽しい

冷たい 大変  
さむい  
雪がこい

ひと冬 5m 雪がふる → どこ?

雪害  
こわれる  
じゃつたい  
ころが

なぜ大雪でもぶつうに生活できるの?

だれ  
・親 町内会  
・市民 会社

いつ  
・夜中 人がない時  
・朝方

どのように  
・除雪機 スコップ  
・除雪車

単元目標  
雪害からくらしを守るために  
市民や市は、どのような  
取組をしているか調べよう

資料①

# 学習活動計画 [5 時間扱い (2/5)]

時	主な学習活動	学習のポイント
11:45	<p><b>T:</b> 前は雪について勉強したね。雪によって困ることが起こるのを何というか覚えて いる？</p> <p><b>C:</b> 雪害！</p> <p><b>T:</b> どんなことが起こるかな？</p> <p><b>C:</b> 雪でじゅうたいが起こるよ。交通事故が起こるよ。</p> <p><b>T:</b> そうだったね。そうならないように、だれが生活を守ってくれているの？</p> <p><b>C:</b> 札幌市！市民！</p>	
11:50	<p><b>T:</b> 今日は、そんな雪害から守るための活動の動画を確認しよう！ <b>(動画: 1分13秒 まで)</b> 除雪はいつ行っていたかな？いまは、札幌市と市民のどちらだと思う？ <b>板書</b></p>	
11:55	<p>今日は札幌市がどのように雪害から暮らしを守っているか調べよう！ <b>課題</b></p> <p><b>T:</b> 動画で確認したように、札幌市は除雪と排雪という二つの方法で暮らしを守って いたね。 わたれで確認していこう。まずは除雪について確認していくよ。 <b>資料①</b> <b>P24 を読む</b>→車道・舗装の距離、費用を確認 <b>資料②</b> <b>P25 を読む</b>→1台の一晚の距離を確認 <b>人数補足</b></p> <p><b>T:</b> 次に排雪について確認していくよ。 <b>資料③</b> <b>P26 を読む</b>→1組の人数、距離、費用を確認</p> <p><b>T:</b> さっきの動画の続きで除排雪について確認してみよう！ <b>動画</b> 世界一の除排雪によって、私たちの暮らしは守られているんだね <b>まとめ</b></p>	<p>○「どう?」「なんかすごいところかあった?」などの言葉で読み取りをさせていく。出ない場合、距離・費用などの視点を持たせる。</p> <p>○除雪との比較によって排雪を捉えていく。</p>
12:15	<p><b>T:</b> でもさ…稲穂小の冬の通学路って、こういうときない? <b>資料④</b> 車道はきれいだけど、ここに雪がなければいいのに…</p> <p><b>C:</b> 確かに！でも、仕方ないよ！</p> <p><b>T:</b> え？仕方ないの？なんで？</p> <p><b>C:</b> だってさ！除雪はできているけど、排雪は…</p> <p><b>T:</b> じゃあ、ちょっとみんなの意見を交換してみよう！ <b>端末</b> 除雪は行われるが、排雪は必ずしもすべて行われるわけではいことを交流させる</p> <p><b>C:</b> なるほどね！排雪は大変だから、仕方ない部分もあるんだね！</p>	<p>○友達の見解に対して自分の意見を述べることで、価値づけしあう。</p>
12:20	<p><b>T:</b> 今日の振り返りをまたジャムボードにまとめていこう！ <b>端末</b></p>	

**1/4(火) No.45 大雪がけいを守る 札幌市は、どのように雪害から暮らしを守っているのかな?**  
**雪害** (じゅうたい、こわまる、てんとう)  
**だれ** (市民、札幌市)  
**いつ** (夜)  
**安全** (大切な)  
**資料②** (5400km, 石垣島)  
**除雪** (雪をよせる) 1日で、車道5400km、歩道3000km、1億5000万 → 1冬220億  
**排雪** (雪を運ぶ) 1組2人、1組28人以上 → 2kmしかできない、ひょうは除雪の80倍、札幌ドーム13分13秒  
**札幌市が世界一の除排雪を行うことで守られている**  
**もっと雪がなければ** (朝だから、時間が、お金が、たりない)  
**資料④**